



公明みさと

2013年
新春号

編集／発行

平成25年1月発行
公明党三郷市議団
三郷市役所(公明党控室)
TEL 048(953)1111

左から佐藤・中野・金澤・木津市長・酒巻・鈴木



主な要望内容

1. 防災減災対策として、橋やトンネル等の長寿命化修繕計画策定及び治水対策の促進
2. 教育環境整備として、学校の耐震補強工事及びトイレルーム等の大規模改修
3. 高齢者対策として、認知症等の支援策 他145項目にわたり要望致しました。

公明党議員団(金澤富美子団長)は、木津雅晟市長に対し、党の基本理念である「福祉」「教育」「環境」「平和」を柱とする、市民本位の市政運営を推進するために、平成25年度予算編成にあたって、諸施策に関する要望書を提出致しました。

予算要望書を 市長へ提出!!

平成二十五年度

パスポートセンターが 市役所内に開設!!

現在、一般旅券の申請受理、交付等は、春日部支所や大宮パスポートセンターなどで行われております。市民の利便性や市民サービスの一環として、本年6月3日から市役所3階でパスポートの申請・交付業務が開始される予定です。

一般質問等でパスポートセンターを開設すべきと訴え、実現することができました。



三郷中央駅前に 保育所、送迎保育ステーションが開設!

待機児童解消の為、様々な質問や提案を行ってまいりましたが、本年4月に三郷中央駅前のマンション内2階に、低年齢児(0歳、1歳、2歳)保育所がオープンします。送迎保育も実施され、市内の公立保育所などに通う園児を送迎バスで送り迎えすることもできます。同じマンション内には、市内2番目の「子育て支援センターにここ」も開設されます。

更に、10月には三郷駅前に定員130名の新保育所が開設予定です。市民要望の多かった保育行政が大きく前進することができました。今後とも、子育てしやすい三郷をめざして、全力で取り組んで参ります。



旧北郷小跡地は、(仮称)独協医科大学付属三郷看護専門学校へ

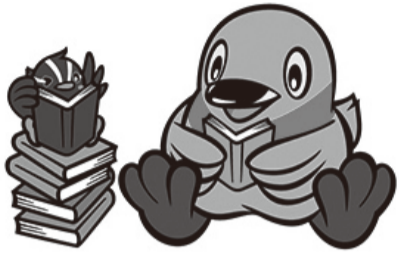
公明党として長年、新三郷駅周辺に大学誘致を要望して参りましたが、彦糸小と北郷小の統合により廃校となった北郷小跡地を、(仮称)独協医科大学付属三郷看護学校に誘致することが決まりました。平成27年4月1日に開校となり、各学年40名の3学年120名収容定員となります。段階的に1学年2クラス80名、収容定員240名に増員する計画で、将来的に看護学部を設置を見込んでのことです。一部、みさと団地などの避難所として利用すると共に、学生によるボランティア活動にも協力を頂く協議を市と大学側で進めています。また、今まで北郷小を避難所として指定されていたみさと団地などの一部住民については、市と地元自主防災組織とで話し合いがもたれる事となっています。

他の自治体では誘致の条件として、補助金や土地の用意までする場合がありますが、本市においては、企業等へ譲渡する場合、学校用地の目的外利用として国への補助金(北郷小の建設時費用)の返還や校舎の解体費用が必要なことから、教育機関の誘致を進めると共に、解体は独協側で行うこと等を条件として、跡地を30年間無償で貸付けすることが12月議会に於いて議決されました。



日本一の読書のまち三郷めざして

子ども読書活動の推進をする中、日本一の読書のまち三郷をめざして全国発信すべきと質問してまいりました。このほど、「第4回全国うちどくサミット in 三郷」や「子ども司書推進全国研究大会」が市文化会館で盛大に開催されました。今後とも、図書館施設の充実や読書活動の推進に取り組んでまいります。



三郷市キャラクターかいちゃん&つぶちゃん

南部地域に防犯ステーション開設

本年4月に市内4番目になる、高州・東町地区防犯ステーションが、高州地区体育館敷地内に、平屋建プレハブ造り(床面積約39㎡)で新築されます。

常勤者3名により、パトロール・防犯情報の提供及び収集等、南部地域の防犯活動の中心施設として運用されます。

運用日時：月曜日から金曜日
(午後1時から7時)



公明党三郷市議団のホームページが開設

昨年11月より、公明党三郷市議団の公式ホームページが開設されました。公明党三郷市議団の実績や活動等について情報発信してまいりますので、どうぞご覧いただきますよう、よろしくお願ひ致します。

<http://komei-misato.com/>

公明党三郷

検索



ジェネリック医薬品の利用差額通知開始

ジェネリック医薬品に切り替えることによって最低どれくらい薬代が安くなるのかを知らせるジェネリック医薬品利用差額通知が、平成24年7月から開始されました。

今回は、年齢60～69歳で、生活習慣病に関する薬剤を服用している方、1カ月単位で500円以上患者負担減が見込める方の170名に郵便で通知しました。今後、対象者の拡大が図られる予定です。



12月定例議会の一般質問要旨

児童・生徒に防災ヘルメットの活用を

首都直下地震の発生が予想されている中、従来の防災対策の見直しを行い、万全な対策を構築する必要があります。例えば、学校で使われている防災ずきんは、落下物からの衝撃に対する強度がヘルメットに劣るだけでなく、耳を塞がれるために音を捉えにくく、視界も狭まるという声があります。そこで、学校現場における防災ずきんの普及状況及び活用状況や、児童・生徒のさらなる安全対策として防災ずきんに替えて防災ヘルメットの活用について、質問しました。



その他の質問 ・住宅の耐震シェルター等に対する補助制度の導入について
・におどり公園野外ステージの利用拡大について

空き家等の適正管理における条例制定を

近年全国的に、単身高齢者の死亡などの理由により、住宅が長期間空き家状態で放置されている現状があります。空き家が老朽化しますと倒壊する恐れや、庭に雑草や樹木が生い茂り、害虫の発生や火災の心配など、近隣に迷惑をかけ住環境にも大きな影響を与えます。加えて、犯罪の温床にもなりかねません。そこで、本市に於いても、空き家等が管理不全な状態になるのを防ぎ、市民の安全・安心を確保する目的で「空き家等の適正管理における条例」の早期制定について質問しました。



その他の質問 ・認知症対策の推進について

公明党市議団



金沢 とみ子
☎952-9301



さかまき 宗一
☎955-2772



中野 てるお
☎957-7686



鈴木 しんたろう
☎958-7486



佐藤 むつろう
☎954-1554

くらしの相談はお気軽!!!

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や年賀状など時候の挨拶状は禁止されております